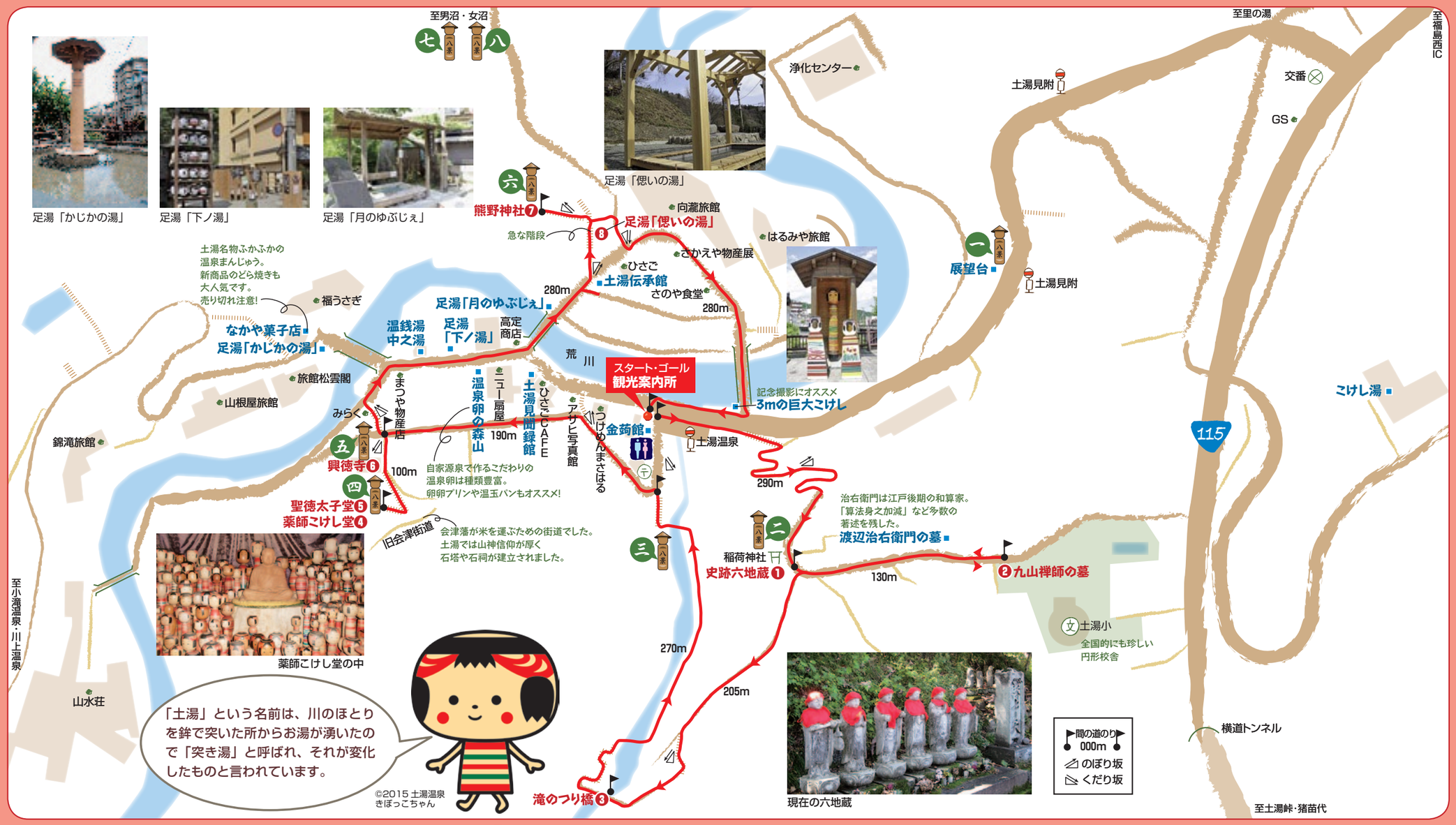
土湯 こでらんにdeふくしま通

1 土湯歴史巡り

古き良き温泉街を歩く



薬師こけし堂の中

現在の六地蔵

❶史跡 六地蔵　スタートから約 290 m

六道の苦しみから人々を救う六体のお地蔵さま。奥にあるお地蔵さまは神仏分離の難で埋められていたものが昭和 47 年に偶然発掘されました。昭和 63 年に開眼式が行われ、新しい六地蔵となっています。

発掘された六地蔵

❷九山禅師の墓　❶から約 130 m

卵型の墓石の裏側は深くえぐり取られています。これはこの墓石から削り取った石の粉を飲むと頭が良くなるという言い伝えの名残です。

❸滝のつり橋 平成18年11月開通　❷から約335m

つり橋からは荒川の支流・東鴉川の渓谷美を一望できる、マイナスイオンたっぷりの癒やしスポットです。(12月下旬～3月末(予定)は通行不可)

奥には砂防堰堤があり、高低差を活用した「土湯温泉東鴉川小水力発電所」が建設され、水力発電を行います。

❹薬師こけし堂　❸から約 560 m

昭和 49 年 11 月に、こけし工人の技術の錬磨と精神的な統合の象徴として建立。お堂の中には惟蕎親王（これたかしんのう）（こけし工人の始祖）が奉られているほか、土湯出身の和算家渡邉治右衛門一の算額が奉納されています。

毎年４月に「献湯式」や「こけし供養祭」を行います。

❺聖徳太子堂　❹から約 50 m

現在の建物は享保 11 年 (1726 年) に再建されたもの。お堂の中には福島市指定民俗文化財の「木造聖徳太子立像」が奉られています。

❻興徳寺　❺から約 50 m

もともとは性信上人（しょうしんしょうにん）が建立した「法得寺」というお寺でしたが、「直江兼継」により、ゆかりのある「九山禅師」の隠居寺として再興。その時に「興徳寺」として改められました。

❼熊野神社　❻から約 280 m

本堂には山の守り神が奉られていて、昔から林業に携わることの多い土湯の人々の信仰の対象になっていました。毎年10月15日には例祭が行われます。

吾妻権現の里宮として安永３年（1774年）、信州高遠の石工によって社殿が建築されました。

❽足湯「偲いの湯」　❼から約 40 m　ゴールまで約 240 m

平成 25 年４月に完成。皇太子妃雅子殿下が平成 24 年１月の「宮中歌会始め」で土湯の水芭蕉の歌を詠まれました。

春あさき　林あゆめば　仁田沼の
岸辺に群れて　みづばせう咲く

雅子様のお心遣いを大変うれしく思い、歌碑を建立、この場所を「歌碑公園」と名付け、県内産のヒノキを使って足湯を作りました。